

最低賃金に関する調査

整理番号

時下ますます御清祥のことと拝察申し上げます。

さて、突然のお願いで誠に恐縮でございます。独立行政法人労働政策研究・研修機構は、厚生労働省所管の調査研究機関で、雇用・労働問題に関する総合的な調査研究活動を行っております。今回皆様に御協力をお願いする調査も、厚生労働省から要請を受け当機構が行うものです。

政府は、現在、経済成長を下支えする基盤（人材能力、就労機会、中小企業）の向上を図り、働く人全体の所得や生活水準を引き上げつつ、格差の固定化を防ぐことを目標に、成長力底上げ戦略を推進しています。その中で、働く人の格差の固定化を防止する観点から、中小企業の生産性向上を踏まえて最低賃金の中長期的な引き上げの基本方針について政労使で合意形成を図ることとしています。

そこで、このたび中小企業の経営者の方（経営者様が御不在の場合は、本調査に御回答いただける方をお願い致します）を対象としてアンケート調査を実施することとしました。

最低賃金についての認識や、経営状況・経営方針、生産性の状況や、雇用や賃金等の制度・方針等について貴重な御意見を頂き、今後の政策立案の基礎資料として活用させていただきたいと考えております。

回答された内容はすべて統計的に処理されますので、個別の記入内容に関して御迷惑をおかけすることはありません。また、本調査の実施にあたり、（株）インテージ長野に調査票の送付・回収を委託しております。回収された調査票は独立行政法人労働政策研究・研修機構が責任を持って管理いたします。御本務御多忙なところ大変恐縮ですが、調査実施の趣旨への御理解と御協力を頂き、是非調査票を御返送頂きたく、御協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社のますますの御発展を心よりお祈り申し上げます。

<御記入に際してのお願い>

- 1 特に断りのない場合、**平成 20 年 3 月 1 日現在の状況**についてお答えください。
- 2 該当する選択肢に○をつけるか、または、該当する数字を記入ください。
- 3 記入されたアンケート調査票は、**平成 20 年 3 月 31 日（月）まで**に、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れて投函してください。
- 4 御不明な点がございましたら、下記の担当者までお問い合わせください。

【調査票の記入方法・回収について】

株式会社インテージ長野 マーケティング情報部 アドホックグループ
担当：服部・西沢（TEL:026-227-5353 受付時間：平日 10 時～17 時）

【調査の趣旨・目的について】

（独）労働政策研究・研修機構

担当：雇用戦略部門 藤井(宏一) (TEL:03-5903-6235 受付時間：平日 10 時～17 時)



この調査では「就業形態」について以下のとおりとします。

＜就業形態＞

従業員	個人業主・無給の家族従業者	個人経営の事業主と個人業主の家族で個人業主の営む事業に従事している者（有給の家族従業者は正社員又は非正社員）
	正社員	貴社で雇用している労働者で雇用期間の定めのない者のうち、パートタイム労働者など非正社員や他企業への出向者などを除いた社員
	非正社員	貴社で雇用している労働者で、パート・アルバイト、契約社員、嘱託社員などの名称で呼ぶ者
外部人材		派遣社員（労働者派遣法により派遣元事業所から派遣されている者）と職場内の請負社員（業務請負契約により、貴社の事業所内で働いている者）

まず、貴社の属性についておうかがいします

問1 貴社(本社)の所在する県(都、道、府)をお書きください。

() 県(都、道、府)

問2 貴社の設立年はいつですか。該当するものの番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 昭和19年以前 | 5. 昭和50～59年 |
| 2. 昭和20～29年 | 6. 昭和60～63年 |
| 3. 昭和30～39年 | 7. 平成元年～9年 |
| 4. 昭和40～49年 | 8. 平成10年以降 |

問3 貴社の主たる業種について、該当するものの番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1. 建設業 | 9. 金融・保険業 |
| 2. 消費関連製造業 | 10. 不動産業 |
| 3. 素材関連製造業 | 11. 飲食店・宿泊業 |
| 4. 機械関連製造業 | 12. 医療・福祉業 |
| 5. 情報通信業 | 13. 教育・学習支援業 |
| 6. 運輸業 | 14. サービス業(生活関連サービス)(具体的に) |
| 7. 卸売業 | 15. サービス業(事業所関連サービス)(具体的に) |
| 8. 小売業 | 16. その他(具体的に) |

(注) 製造業の分類は以下のとおりです。

消費関連製造業	食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、衣服その他の繊維製品製造業、家具・装備品製造業、印刷・同関連業、なめし革・同製品・毛皮製造業、その他の製造業
素材関連製造業	木材・木製品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、化学工業、石油・石炭製品製造業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業
機械関連製造業	一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、情報通信機器製造業、電子部品・デバイス製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業

1. 個人経営 3. 株式会社以外の会社
2. 株式会社 4. その他(具体的に)

1. 子会社である
2. 関連会社である
3. 子会社・関連会社ではないが、設立の経緯などからグループ企業と認識している
4. グループ企業の中核企業である
5. グループ企業ではない

また、3年前の従業員数についても、概数を御記入ください。

		現在	3年前
従業員数（合計）		人	人
個人業主・無給の家族従業者		人	人
正社員		人	人
非正社員		人	人
うちパート・アルバイト		人	人
うちその他（契約社員、嘱託等）		人	人
外部人材（派遣・請負）		人	人

↓

従業員数（合計）	人
正社員	人
非正社員	人

1. 労働組合はある 2. 労働組合はない

賃金の決定・改定等の状況についておうかがいします

【問6で現在「正社員」が「1人」以上とお答えになった企業におうかがいします】

問9 貴社の現在働いている正社員の最も低い賃金(基本給)の水準は、時給でどの程度ですか。
(日給、週給、月給等の場合は、時給に換算してお答えください。)(複数の事業所がある場合は、本社の所在する県(都、道、府)の事業所についてお答えください。)

_____円

付問1 貴社の正社員の賃金は何を考慮して決めていますか。該当するものの番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 地域別最低賃金(※1) | 5. 経験年数に応じて |
| 2. 産業別最低賃金(※2) | 6. 年齢に応じて |
| 3. 同じ地域の従業員の賃金相場 | 7. 仕事の困難度に応じて |
| 4. 同じ職種の従業員の賃金相場 | 8. その他(具体的に _____) |

(※1)都道府県ごとに定められて全労働者に適用される賃金の最低額のことです。

(※2)事業の公正競争をより確保するなどの目的から都道府県ごとの特定産業に設定される賃金の最低額のことです。

付問2 そのうち、最も重視するものの番号を1つだけお答えください。

問10 貴社は、正社員の賃金(基本給)を前年度と比べ今年度引き上げましたか。該当するものの番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 賃金を引き上げた | → 付問1へお進みください |
| 2. 前年度並みにした | } → 付問3へお進みください |
| 3. 賃金を引き下げた | |

【問10で「1. 賃金を引き上げた」とお答えになった企業におうかがいします】

付問1 本年度の正社員の賃金の引き上げにあたりどのような要因を考慮して決定しましたか。該当するものの番号にすべて○をつけてください。

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 貴社の業績 | 10. 地域別最低賃金の改定に応じて |
| 2. 世間相場 | 11. 産業別最低賃金の改定に応じて |
| 3. 雇用の維持 | 12. 経験年数に応じて |
| 4. 労働力の確保・定着 | 13. 年齢に応じて |
| 5. 物価の動向 | 14. 仕事の困難度に応じて |
| 6. 労使関係の安定 | 15. 本人の業績に応じて |
| 7. 従業員の意向 | 16. 能力の向上に応じて |
| 8. 親会社の意向 | 17. その他(具体的に _____) |
| 9. 取引先の意向 | |

付問2 そのうち、最も重視したものの番号を1つだけお答えください。

→問11へお進みください

【問10で「2. 前年度並みにした」、「3. 賃金を引き下げた」とお答えになった企業におうかがいします】

付問3 その理由として該当するものの番号を2つまで選んで○をつけてください。

1. 企業業績から賃金を上げる余裕がなかったから
2. 将来の経営状況が不透明だから
3. 物価が安定しているから
4. 主な取引先が賃上げをしなかったから
5. 取引先から価格・単価の引下げが要請され、賃金を上げる余裕がなかったから
6. 毎年賃上げをしている訳ではないから
7. その他（具体的に _____ ）

【問6で現在「パート・アルバイト」が「1人」以上とお答えになった企業におうかがいします】

問11 貴社の現在働いているパート・アルバイトの最も低い賃金（基本給）の水準は、時給でどの程度ですか。（日給、週給、月給等の場合は、時給に換算してお答えください。）（複数の事業所がある場合は、本社の所在する県（都、道、府）の事業所についてお答えください。）

_____円

付問1 貴社のパート・アルバイトの賃金は何を考慮して決めていますか。該当するものの番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 地域別最低賃金 | 5. 経験年数に応じて |
| 2. 産業別最低賃金 | 6. 年齢に応じて |
| 3. 同じ地域・職種のパート・アルバイトの賃金相場 | 7. 仕事の困難度に応じて |
| 4. 同じ職種の正社員の賃金相場 | 8. その他（具体的に _____ ） |

付問2 そのうち、最も重視するものの番号を1つだけお答えください。

問12 貴社では、パート・アルバイトの賃金を前年度に比べて今年度引き上げましたか。該当するものの番号に1つ○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 引き上げを行った（全員について） | } → 付問1へお進みください |
| 2. 引き上げを行った（一部について） | |
| 3. 引き上げを行わなかった | → 問13へお進みください |

【問 12 で「1. 引上げを行った（全員について）」、「2. 引上げを行った（一部について）」とお答えになった企業におうかがいします】

付問 1 パート・アルバイトの賃金を引き上げた場合、何を考慮して決めましたか。

該当するものの番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 貴社の業績 | 8. 産業別最低賃金の改定に応じて |
| 2. 労働力の確保・定着 | 9. 経験年数に応じて |
| 3. 同じ地域・職種の
パート・アルバイトの賃金相場 | 10. 年齢に応じて |
| 4. 同じ職種の正社員の賃金 | 11. 仕事の困難度に応じて |
| 5. 物価の動向 | 12. 本人の業績に応じて |
| 6. 従業員の意向 | 13. 能力の向上に応じて |
| 7. 地域別最低賃金の改定に応じて | 14. その他 |
| | (具体的に) |

付問 2 そのうち、最も重視するものの番号を 1 つだけお答えください。

最低賃金制度についておうかがいします

最低賃金とは、国が(法的強制力を持って)賃金の最低額を定め、使用者はその金額以上の賃金を労働者に支払わなければならない制度です。都道府県ごとに定められて全労働者に適用される地域別最低賃金と、事業の公正競争をより確保するなどの目的から都道府県ごとの特定産業に設定される産業別最低賃金があります。

以下では、地域別最低賃金についておうかがいします。

【すべての企業におうかがいします】

問 13 貴社(本社)が立地する県(都、道、府)の現在の地域別最低賃金額を御存じですか。該当するものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。(別添:地域別最低賃金一覧表があります。確認してください。)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 金額を知っている | → 問 14 へお進みください |
| 2. 金額を知らない | → 問 15 へお進みください |

【問 13 で「1. 金額を知っている」とお答えになった企業におうかがいします】

問 14 地域別最低賃金額を、どのようにしてお知りになりましたか。該当するものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. 労働局のホームページやパンフレット等をみて | 5. 同業他社の話を聞いて |
| 2. 業界団体の会報誌をみて | 6. 近隣他社の話を聞いて |
| 3. 市町村作成による広報誌をみて | 7. その他 |
| 4. 新聞、テレビなどマスメディアを通して | (具体的に) |

【すべての企業におうかがいします】

問 15 貴社では、本社が立地する県(都、道、府)内の事業所の従業員のうち、賃金額が当該県(都、道、府)の地域別最低賃金近辺の労働者は、どの程度いますか。正社員、非正社員別に、概数でかまいませんのでお答えください。(別添：地域別最低賃金一覧表の参考表を参考にしてください。)

	正社員	非正社員
最低賃金×110%未満	人	人
最低賃金×110～120%未満	人	人
最低賃金×120～130%未満	人	人

問 16 貴社では、今回(平成 19 年度)の地域別最低賃金の引上げに対処するために、経営面や雇用・賃金面で、何らかの対応策や見直しを行いましたか。該当するものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。(対応策や見直しには、賃金の引上げも含まれます。)

1. 対応策や見直しを行った → 問 17 へお進みください
2. 対応策や見直しを行わなかった → 問 18 へお進みください

【問 16 で「1. 対応策や見直しを行った」とお答えになった企業におうかがいします】

問 17 貴社では、どのような対応策や見直しを行いましたか。該当するものの番号をすべて選んで○をつけてください。

1. 従業員の賃金の引上げ
2. 製品・サービスの質の向上、新製品・サービスの開発
3. 労働力節約のための設備の導入・拡大
4. 人員配置、作業方法の改善
5. 従業員の新規雇用の抑制
6. 従業員の採用を非正社員から正社員に重点を切り替え
7. パート・アルバイト等非正社員への切り替え
8. 請負・派遣労働者等外部人材の活用
9. 職能給、職務給、能率給の採用・拡大など賃金制度の改正
10. 人件費以外の諸経費等コストの削減
11. 価格、料金の引き上げ
12. 福利厚生費の見直し
13. 教育訓練の見直し
14. その他(具体的に)

【問 17 で「1. 従業員の賃金の引上げ」とお答えになった企業におうかがいします】

付問 1 対象とする従業員について該当するものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。

1. 正社員
2. 非正社員
3. 正社員・非正社員両方

【問 17 で「5. 従業員の新規雇用の抑制」とお答えになった企業におうかがいします】

付問 2 対象とする従業員について該当するものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。

1. 正社員 2. 非正社員 3. 正社員・非正社員両方

【問 17 で「12. 福利厚生費の見直し」とお答えになった企業におうかがいします】

付問 3－1 対象とする従業員について該当するものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。

1. 正社員 2. 非正社員 3. 正社員・非正社員両方

付問 3－2 福利厚生費の費用はどうしましたか。該当するものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。

1. 増やした 2. 減らした 3. その他(具体的に)

【問 17 で「13. 教育訓練の見直し」とお答えになった企業におうかがいします】

付問 4－1 対象とする従業員について該当するものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。

1. 正社員 2. 非正社員 3. 正社員・非正社員両方

付問 4－2 教育訓練の量・費用はどうしましたか。該当するものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。

1. 増やした 2. 減らした 3. その他(具体的に)

→ 問 19 へお進みください

【問 16 で「2. 対応策や見直しを行わなかった」とお答えになった企業におうかがいします】

問 18 対応策や見直しを行わなかった理由は何ですか。最も該当するものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。

1. 最低賃金の存在は知っていたが、適用されることを知らなかった
2. もともと自社の賃金が最低賃金より高いため
3. (自社で雇用している) 従業員がいないため
4. 改定後の最低賃金に対応できないため
5. その他(具体的に)

【ここからは、すべての企業におうかがいします】

問 19 貴社では、今回（平成 19 年度）の地域別最低賃金の引き上げにより、経営面や雇用面に影響（変化）がありましたか。次の項目ごとに該当するものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。

経常利益	1. 増加に影響	2. 減少に影響	3. 変化なし	4. わからない
販売価格	1. 上昇に影響	2. 低下に影響	3. 変化なし	4. わからない
労働生産性(※)	1. 上昇に影響	2. 低下に影響	3. 変化なし	4. わからない
人件費以外の費用	1. 増加に影響	2. 減少に影響	3. 変化なし	4. わからない
人件費総額	1. 増加に影響	2. 減少に影響	3. 変化なし	4. わからない
従業員数	1. 増加に影響	2. 減少に影響	3. 変化なし	4. わからない
うち正社員	1. 増加に影響	2. 減少に影響	3. 変化なし	4. わからない
うち非正社員	1. 増加に影響	2. 減少に影響	3. 変化なし	4. わからない
総労働時間数	1. 増加に影響	2. 減少に影響	3. 変化なし	4. わからない
従業員の意欲	1. 上昇に影響	2. 低下に影響	3. 変化なし	4. わからない
欠員の充足度	1. 上昇に影響	2. 低下に影響	3. 変化なし	4. わからない

(※)労働生産性とは、労働者 1 人 1 時間当たり、どの程度の付加価値額を生み出したか、ということを表します。付加価値額とは、経常利益と人件費と特定の費用（金融費用、租税公課、賃借料、減価償却費）を合計したものです。

貴社の経営状況、雇用状況等についておうかがいします

問 20 貴社の業況及び生産・売上・雇用等の現状と今後（半年～1 年程度先）の先行き見通しについて該当するものの番号を各々 1 つ選んで○をつけてください。

自社の業況判断	現状	1. 良い 2. 普通 3. 悪い 4. 不明
	先行き	1. 良い 2. 普通 3. 悪い 4. 不明
生産・売上の水準	現状（1 年前と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
	先行き（現状と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
経常利益の水準	現状（1 年前と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
	先行き（現状と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
従業員数の増減	現状（1 年前と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
	先行き（現状と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
うち 正社員の増減	現状（1 年前と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
	先行き（現状と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
うち 非正社員の増減	現状（1 年前と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
	先行き（現状と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
人件費の増減	現状（1 年前と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
	先行き（現状と比べて）	1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明
雇用の過不足感 （従業員全体）	現状	1. 不足 2. 適正 3. 過剰 4. 不明
	先行き	1. 不足 2. 適正 3. 過剰 4. 不明
雇用調整または 賃金調整	現状	1. 実施している 3. 不明 2. 実施していない
	先行き	1. 計画している 3. 不明 2. 計画していない

問 21 貴社において直面している経営上の問題点について、次のうち該当するものの番号のうち主なものを 3 つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 同業他社等との競争激化 | 6. 人件費の増加 |
| 2. 取引先の倒産・経営不安等 | 7. 金融動向（金利上昇・資金調達難） |
| 3. 需要の低迷 | 8. 従業員の確保難 |
| 4. 販売価格の低下・上昇難 | 9. 事業継承難 |
| 5. 原材料高・仕入れ価格の上昇 | 10. その他（具体的に |

貴社の販売価格、取引状況等についておうかがいします

問 22 貴社の主な製品・サービスの販売について、原材料・仕入れ価格の上昇等費用の増加に応じて販売価格を引き上げることは可能ですか。該当するものの番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 可能である | 4. 全くできない |
| 2. ある程度可能である | 5. わからない |
| 3. ほとんどできない | |

問 23 貴社の主な製品・サービスには、取引先業者がありますか。該当するものの番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 取引先業者がある | → 問 24 へお進みください |
| 2. 取引先業者はない | → 問 26 へお進みください |

【問 23 で「1. 取引先業者がある」とお答えになった企業におうかがいします】

問 24 貴社の主要な取引先との価格や納品状況に関する契約内容は、どのように決定されていますか。次のうち最も近いものの番号を1つ選んで○をつけてください。

※主要な取引先とは、直近の決算で最も販売額が多い企業を指します。

- | | |
|--|---|
| 1. 契約の主な内容は、もっぱら自社が主導して決定する | |
| 2. 契約の主な内容は、もっぱら取引先企業が主導して決定する | |
| 3. 契約の主な内容は、取引先企業との対等な話し合いで両者が合意して決定する | |
| 4. 契約の主な内容は、業界の慣行や市場の状況で決定する | |
| 5. その他（具体的に | ） |

問 25 貴社の主要な取引先との価格協議はどの程度の頻度で実施していますか。次のうち最も近いものの番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------------|---|
| 1. 1年に複数回 | → 付問 1 へお進みください | |
| 2. 1年に1回程度 | → 付問 3 へお進みください | |
| 3. 数年に1回程度 | } → 問 26 へお進みください | |
| 4. その他（ | | ） |

【問 25 で「1. 1年に複数回」とお答えになった企業におうかがいします】

付問 1 協議は年何回程度でしょうか。

年 _____ 回程度

付問 2 協議は定期的に行われますか。もしくは、臨時的に行われますか。

- | | |
|--------|--------|
| 1. 定期的 | 2. 臨時的 |
|--------|--------|

→ 問 26 へお進みください

【問 25 で「2. 1年に1回程度」とお答えになった企業におうかがいします】

付問 3 協議は毎年概ね何月頃行われますか。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 毎年概ね _____ 月頃 | 2. 特にいつ頃か決まっていない |
|------------------|------------------|

貴社の労働生産性の状況等についておうかがいします

以下、この調査での労働生産性は、労働者 1 人 1 時間当たり、どの程度の付加価値額を生み出したか、ということを表します。

(注) 付加価値額とは、経常利益と人件費と特定の費用（金融費用、租税公課、賃借料、減価償却費）を合計したものです。

【すべての企業におうかがいします】

問 26 貴社の昨年度の「労働生産性」の伸びはいかがでしたか。次のうち最も近いと考えられるものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。

- 1. 一昨年度より伸びた → 問 27 へお進みください
- 2. 変化はなかった → 問 29 へお進みください
- 3. 一昨年度より低下した → 問 28 へお進みください

【問 26 で「1. 一昨年度より伸びた」とお答えになった企業におうかがいします】

問 27 貴社の生産性が伸びたのはどのような要因によってですか。重要な要因と考えられるものの番号を 5 つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 国内外の需要の増大 | 8. 取引先との関係強化 |
| 2. 製品・サービスの高付加価値化 | 9. 業務の外注化 |
| 3. マーケティング・販売体制の強化 | 10. 非正社員・外部人材の活用 |
| 4. 新たな設備・機械の導入、
生産工程・作業手法の改善 | 11. 教育訓練の充実・強化 |
| 5. (販売) 価格の上昇 | 12. 従業員の意欲の向上 |
| 6. 原材料費の低下 | 13. 従業員数の減少 |
| 7. 資本調達コストの低下 | 14. 総労働時間の減少 |
| | 15. その他(具体的に) |
- 問 29 へお進みください

【問 26 で「3. 一昨年度より低下した」とお答えになった企業におうかがいします】

問 28 貴社の生産性が低下したのはどのような要因によってですか。重要な要因と考えられるものの番号を 5 つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 国内外需要の低迷 | 8. 取引先との連携に遅れ |
| 2. 製品・サービスの高付加価値化の遅れ | 9. 業務の外注化の遅れ |
| 3. マーケティング・
販売体制の整備の遅れ | 10. 非正社員・外部人材の活用に問題 |
| 4. 設備・機械の老朽化、
生産工程・作業手法の改善の遅れ | 11. 教育訓練の減少 |
| 5. (販売) 価格の低下 | 12. 従業員の意欲の低下 |
| 6. 原材料費の値上げ | 13. 従業員数の増加 |
| 7. 資本調達コストの増加 | 14. 総労働時間の増加 |
| | 15. その他
(具体的に) |

【ここからは、すべての企業におうかがいします】

問 29 貴社の今年度の「労働生産性」の伸びはどう見込んでいますか。最も近いと考えられるものの番号を 1 つ選んで○をつけてください。

- 1. 昨年度より伸びる
- 2. 変わらない
- 3. 昨年度より低下する

問 30 貴社では、「労働生産性」の伸びによる成果（付加価値）を分配する際に、どの層への配分を重視していますか。重視する順に上位3つまで番号を御記入ください。

- | | |
|--------|---------------|
| 1. 従業員 | 4. 企業内部（内部留保） |
| 2. 役員 | 5. 顧客 |
| 3. 株主 | 6. その他（具体的に |

1 位

2 位

3 位

問 31 貴社の「労働生産性」を向上させるために、今後強化していきたいものは何ですか。該当するものの番号を5つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 製品・サービスの高付加価値化 | 10. 生産工程・作業方法の改善 |
| 2. マーケティングや販売体制の強化 | 11. 業務の外注化 |
| 3. 事業分野の見直し・絞込み | 12. 人材育成 |
| 4. 取引先との関係強化・ネットワークの形成 | 13. 従業員の意欲・やる気の向上 |
| 5. 海外市場の開拓 | 14. ワーク・ライフ・バランス |
| 6. 部品・原材料調達ルートの見直し | (仕事と生活の調和) の重視 |
| 7. 研究開発の強化 | 15. 非正社員・外部人材の活用 |
| 8. 情報通信機器・技術の導入（I T投資） | 16. その他 |
| 9. I T以外の設備投資 | (具体的に |

貴社の人事労務管理制度についておうかがいします

問 32 人材の活用・確保方針について、貴社においてこれまで重視してきた項目、及び今後重視していく項目を、それぞれお答えください。該当するものの番号をすべて選んで○をつけてください。

	これまで	今後重視
新規学卒者の採用	1	1
中途採用者の活用	2	2
従業員の長期安定雇用の維持	3	3
非正社員（パート・アルバイト・契約社員・嘱託職員等）の活用	4	4
外部人材（派遣労働者・請負会社の社員）の活用	5	5
非正社員の正社員への転換	6	6
若年フリーター・ニートの採用	7	7
外国人労働者の採用	8	8
結婚、出産、育児等により貴社を退職した女性の再雇用	9	9
女性管理職の育成・登用	10	10
高齢者の継続雇用・定年延長	11	11
障害者の採用	12	12
重視してきたもの/重視していくものはない	13	13

問 33 貴社では人材育成のためにどのような施策を実施していますか。これまで行っている項目について、また、今後重視していく項目について、該当するものの番号をすべて選んで○をつけてください。

	これまで 実施	今後重視
計画的なO J T (※1)	1	1
O f f – J T制度(※2)	2	2
自己啓発支援制度(※3)	3	3
有給教育訓練休暇制度	4	4
計画的なジョブローテーションの実施(※4)	5	5
非正社員を対象とした教育訓練の実施	6	6
その他 ()	7	7
特段行っていない/重視するものはない	8	8

(※1) O J Tとは、実際に仕事をしながら仕事を覚えていく教育訓練を指します。

(※2) O f f – J Tとは、仕事の間を離れた教育訓練（研修等の実施等）を指します。

(※3) 自己啓発とは、従業員の自助努力による職業能力の向上に対する取組を指します。

(※4) ジョブローテーションとは、従業員に多くの仕事を体験させるため、人材育成計画に基づいて定期的に職務の異動を行うことを指します。

付問 1 貴社の能力開発の方針について、正社員、非正社員別に該当するものの番号を1つ選んで○をつけてください。

	正社員	非正社員
企業は積極的に従業員の能力開発に関わる	1	1
企業の行う能力開発は最小限とし、従業員個人の自発的な能力開発に任せる	2	2
企業は能力開発を行わず、従業員個人の自発的な能力開発に任せる	3	3

問 34 貴社の従業員の人事管理について困っていることはありますか。該当するものの番号をすべて選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 正社員(新卒)が思うように採用できない | 9. チームワークがとれない |
| 2. 正社員(中途採用)が
思うように採用できない | 10. 能力・業績評価が
うまくいっていない |
| 3. パート・アルバイトが
思うように採用できない | 11. 人材育成が難しい |
| 4. 従業員が定着しない | 12. 長時間労働となっている |
| 5. 賃金が高い | 13. 高齢化している |
| 6. 技能が低い | 14. 非正社員の管理が難しい |
| 7. 労働意欲が低い | 15. その他
(具体的に) |
| 8. 能率が悪い | 16. 困っていることは特にな |

貴社の収支などについておうかがいします

問 35 貴社の従業員の労働時間についておうかがいします。残業時間を含め、1週間平均で1人当たり何時間程度働いていますか。正社員、非正社員それぞれについて、今年度の見込み時間を御記入ください。また、3年前の実績についても概数を御記入ください。

	今年度見込み	3年前
従業員（合計）	約 時間	約 時間
正社員	約 時間	約 時間
非正社員	約 時間	約 時間

付問 1 今後（半年～1年程度）の従業員全体の労働時間の見通しについて、該当するものの番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 増加 2. 横ばい 3. 減少 4. 不明

問 36 貴社の収入、収益等についておうかがいします。

今年度の見込みの金額を御記入ください。また3年前の金額についても概数を御記入ください。

	今年度見込み	3年前
売上高金額	万円	万円
経費総額（給与を除く） （注：仕入れ高や事業に要した経費の合計額、営業外費用や特別損失、人件費は含みません）	万円	万円
人件費総額	万円	万円
うち給与支給総額	万円	万円
経常利益	万円	万円

～ 御協力いただきまして、誠にありがとうございました ～

<資料>地域別最低賃金一覧表

この表は平成 20 年 1 月 1 日現在のものです。

都道府県名	19年度 最低賃金額 (円)	18年度からの 引上げ額 (円)	18年度からの 引上げ率 (%)
北海道	654	10	1.6
青森	619	9	1.5
岩手	619	9	1.5
宮城	639	11	1.8
秋田	618	8	1.3
山形	620	7	1.1
福島	629	11	1.8
茨城	665	10	1.5
栃木	671	14	2.1
群馬	664	10	1.5
埼玉	702	15	2.2
千葉	706	19	2.8
東京	739	20	2.8
神奈川	736	19	2.6
新潟	657	9	1.4
富山	666	14	2.1
石川	662	10	1.5
福井	659	10	1.5
山梨	665	10	1.5
長野	669	14	2.1
岐阜	685	10	1.5
静岡	697	15	2.2
愛知	714	20	2.9
三重	689	14	2.1
滋賀	677	15	2.3
京都	700	14	2.0
大阪	731	19	2.7
兵庫	697	14	2.0
奈良	667	11	1.7
和歌山	662	10	1.5
鳥取	621	7	1.1
島根	621	7	1.1
岡山	658	10	1.5
広島	669	15	2.3
山口	657	11	1.7
徳島	625	8	1.3
香川	640	11	1.7
愛媛	623	7	1.1
高知	622	7	1.1
福岡	663	11	1.7
佐賀	619	8	1.3
長崎	619	8	1.3
熊本	620	8	1.3
大分	620	7	1.1
宮崎	619	8	1.3
鹿児島	619	8	1.3
沖縄	618	8	1.3

参考表		
最低賃金額 × 110%	最低賃金額 × 120%	最低賃金額 × 130%
719	784	850
680	742	804
680	742	804
702	766	830
679	741	803
682	744	806
691	754	817
731	798	864
738	805	872
730	796	863
772	842	912
776	847	917
812	886	960
809	883	956
722	788	854
732	799	865
728	794	860
724	790	856
731	798	864
735	802	869
753	822	890
766	836	906
785	856	928
757	826	895
744	812	880
770	840	910
804	877	950
766	836	906
733	800	867
728	794	860
683	745	807
683	745	807
723	789	855
735	802	869
722	788	854
687	750	812
704	768	832
685	747	809
684	746	808
729	795	861
680	742	804
680	742	804
682	744	806
682	744	806
680	742	804
680	742	804
679	741	803

(注) 小数点以下は切り捨て